

〔日本音楽教育学会東海地区例会のご案内〕

*日時：2023年3月26日（日）13:00～16:30

*場所：愛知教育大学「教育未来館3F多目的ホール」

*参加費：無料（どなたでも参加できます。学会正会員以外も参加可）

プログラム

- ①教職大学院修了報告「音楽的な見方・考え方を働かせる中学校音楽科の創作、器楽の授業づくり」～音遊びやアーティキュレーションを工夫する活動を取り入れた実践を通して～ [15分報告+質疑応答5分]

愛知教育大学教職大学院：磯貝 周

- ②教職大学院中間報告「音楽の意味や価値を創造する生徒の育成」～思いや意図を表現する活動を通して～ [15分報告+質疑応答5分]

愛知教育大学教職大学院・附属名古屋中学校：水谷佳那子

- ③正会員による研究発表（研究経過報告）

「ガニエの9教授事象による音楽科授業デザインについての考察」～小学校音楽科の学習指導案（本時案）や展開例に焦点を当てて～

[20分報告+質疑応答5分]

常葉大学：山口亮介

・・・休憩 15分・・・

- ④パネルディスカッション [14:20～16:20]

「部活動の地域移行ー地域クラブの先行事例の紹介」

ー地域クラブの現状と課題、自治体の取り組みの事例報告ー

パネリスト 渡辺徹(つつじが丘ジュニアマーチングバンド音楽監督、豊橋市教員)

杉浦宏美 (Aisai MarchingBand BLOWING 代表、あま市教員)

縄田亮太 (春日井市部活動検討会議、愛教大保健体育講座)

コーディネータ 新山王政和 (愛知県地域部活動推進会議、愛教大音楽教育講座)

ここ数年、中学校部活動に関する話題が各方面で取りあげられてきましたが、2022年にスポーツ庁及びより文化庁より「部活動の地域移行に関する検討会議提言」が示されて以来、俄かに現実のものとして直視せざるを得ない状況になりました。本学会でも2022年12月に発行された「音楽教育実践ジャーナル vol.20(通巻33号)において、「部活動とその指導について考える」と題する特集が生まれ、学会員の間で話題となりました。さらに、ほぼ同じ時期に文部科学省から示された「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」では、2023年度からの3年間を改革推進期間とした上で、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指すとされていることから、今後、慎重かつ確実に地域移行を進めていくことが求められています。

今回は永く地域クラブとして活動してきた「つつじが丘ジュニアマーチングバンド」の渡辺徹先生と、地域移行の流れを見据えて設立された「Aisai MarchingBand BLOWING」の杉浦宏美先生から、団体設立の経緯や現状などをお聞きします。さらに愛知県春日井市の部活動検討会議委員を務めておられる縄田亮太先生から「今何が話し合われて、何が問題となり、どのような方向性で部活動地域移行を進めようとしているのか」などをお話しいただいた上で、現実的な諸問題についてフロアも含めて情報共有を図りたいと思います。